

第 25 回衛生工学シンポジウム

特別記念講演会 プログラム

日時：2017 年 11 月 9 日（木）13:00～17:40

場所：北海道大学クラーク会館大講堂

主催：衛生工学シンポジウム実行委員会

後援：空気調和・衛生工学会北海道支部

参加費：無料

1. 開会挨拶 衛生工学シンポジウム実行委員会 委員長 松藤敏彦 13:00～13:10
2. 記念講演 堀越哲美先生（愛知産業大学学長、名古屋工業大学名誉教授）
「体感温度が果たす室内から都市の環境デザイナー—その役割と展望—」
（司会：北海道大学大学院 長野克則） 13:10～14:10
休憩 14:10～14:25
3. 記念講演 田中勝先生（（公財）廃棄物・3R 研究財団 理事長、岡山大学名誉教授）
「世界の廃棄物処理の潮流」
（司会：北海道大学大学院 石井一英） 14:25～15:25
休憩 15:25～15:40
4. 記念講演 浅野孝先生（カリフォルニア大学デービス校名誉教授）
「Water Reuse: Necessity and Opportunities, and Remembrance of the Things Past」

記念講演 丹保憲仁先生（北海道道立研究機構理事長）
「足し算ではなく、引き算で本質を探す—近代の終わる頃」
（司会：中央大学研究開発機構 渡辺義公） 15:40～17:40

<主催者挨拶>

「衛生工学シンポジウム」を始めてから、本年は4半世紀を迎えることになりました。今回は記念のシンポジウムとして私たちの大先輩を特別記念講演会にお招きしていますが、学生との年齢差60歳が、衛生工学の歴史の長さを感じさせます。私たち環境工学コースは広い範囲の環境問題を対象とする世界でも稀な研究教育グループであり、日本のみならず世界の環境問題解決に貢献してきました。本シンポジウムでは来し方を振り返るとともに行く末を考え、世代を超えて参加者が大いに刺激を受ける会になることを願っております。

衛生工学シンポジウム実行委員会 委員長 松藤敏彦

特別講演者プロフィール

堀越哲美先生（愛知産業大学学長、名古屋工業大学名誉教授）

北海道大学工学部衛生工学科を卒業後に、東京工業大学大学院に入学、同建築学専攻博士課程を修了し、工学博士の学位を取得。その後、日本国有鉄道職員、名古屋工業大学教授、名古屋工業大学副学長等を務め、2014年より現職。研究分野は環境デザイン、建築計画原論で、主に五感に基づくデザイン、都市におけるヒートアイランド対策に関する研究などにおいて第一人者として活躍している。日本生気象学会会長、日本建築学会理事・東海支部長も務めた。また、研究業績により日本建築学会学会賞、JCD デザインアワードなどを受賞した。

田中勝先生（（公財）廃棄物・3R 研究財団 理事長、岡山大学名誉教授）

米国ノースウェスタン大学大学院修了。1976年国立公衆衛生院、廃棄物工学部長を任務。1997-2007年まで北海道大学大学院、客員教授、2000年岡山大学教授、2008年公立鳥取環境大学教授、同大学サステナビリティ研究所所長。2011年（公財）廃棄物・3R 研究財団理事長、2007年に株式会社廃棄物工学研究所を設立。50年間にわたり廃棄物工学の第一線で活躍。日本テレビ系、「ウェークアップ」、「世界一受けたい授業」等に出演。

浅野孝先生（カリフォルニア大学デービス校名誉教授）

北海道大学農学部を卒業後に渡米、カリフォルニア大学バークレイ校とミシガン大学で学位取得。水再利用工学の世界的権威であり、WHO、World Bank、FAO、EUなど多くの国際機関で活躍。2001年には「水のノーベル賞」ストックホルム水賞を受賞。日本国内でも北海道大学客員教授、東京大学客員教授、信州大学特任教授、（独）土木研究所フェローなどを務め、後進の指導にあたっている。これらの功績により国交省、土木学会などから表彰、2009年には瑞宝重光章を授与されている。

2017年11月から JSPS ノーベル賞級研究者招聘事業（受入：信州大学 吉谷教授）で来日中

丹保憲仁先生（北海道道立研究機構理事長）

1957年北海道大学工学部衛生工学科に講師として着任以来60年にわたり日本の環境工学を牽引、教育者として多くの人材を養成。専門は水環境工学と都市水工学。凝集理論や水質マトリックスなどの世界的研究業績をあげ、第89代土木学会会長、アジアから初めての国際水協会（International Water Association: IWA）会長など国内外の学会で要職を歴任。北海道大学総長、放送大学長として大学行政にも手腕を発揮した他、途上国の水道技術教育にも力を注ぎ、1975年にはインドネシア国公共事業大臣特別表彰。2009年、瑞宝大綬章授与。